

# 平成21年度 農林水産物・食品輸出促進事業の実施計画



平成 2 1 年 4 月

農林水産省

# 農林水産物・食品の輸出促進対策

～豊かな食で世界の人々を幸せに～

農林水産物・食品の輸出の取組に活用できる補助事業をお探しの方へ 2頁

「国際見本市」へ出展を希望される方へ 3頁

「海外のアンテナショップ」へ出品を希望される方へ 4頁

国内の輸出促進セミナー、商談会へ参加を希望される方へ 6頁

日本食材を海外でPRする機会をお探しの方へ 7頁



## 農林水産物・食品の輸出の取組に活用できる 補助事業をお探しの方へ

農林水産物等輸出促進対策(平成21年度予算額8億円)

MAFF

明確な目標を設定し、輸出に取り組もうとする農林漁業者等の取組に対して、総合的な支援を実施。  
補助率は1/2。(ただし、輸出プロモーターの活用については、定額補助)

### (事業実施主体、支援対象者)

農林水産物等の輸出を拡大する目標を設定し、輸出に取り組む事業者(例:農事組合法人、農業協同組合、森林組合、漁業協同組合、複数の事業者が設立した協議会(別途、農林水産省の承認が必要です。))等

### (事業メニュー、支援対象)

**輸出プロモーターの活用**(定額支援:上限500万円):商社OB、経営コンサルタント、海外への商標登録出願を行う弁理士等の活用など。

**輸出能力養成**:国内における研修会の実施等。

**海外輸出環境調査**:海外の流通状況や一般消費者の嗜好や消費動向等に関する調査。

**産地PR・ほ場視察**:海外バイヤーの我が国産地等への招へい。

**ブランドづくり**:ブランド確立のための検討会の開催等。

**物流技術実証**:梱包資材の試作、テスト輸送の実施等。

**海外輸出環境整備**:海外における試食会の実施や商談会への参加、海外の検疫官の招へい。

**海外販売促進活動**:海外の百貨店等における日本フェア等の実施。

### (参加方法)

公募による競争のうえ、決定。

### (募集時期)

4月上旬に農林水産省のHPにおいて、募集予定。

### (昨年度の実施実績)

44団体(最低130万円～最高6,555万円)

### (事業の活用例)

事業実施主体:青森県農林水産物輸出促進協議会  
青森県産ながいもの輸出拡大に向けて、2008年7月、カナダ(バンクーバー)及び米国(ロサンゼルス)を訪問し、現地スーパーにおける試食会の開催や価格調査、現地の小売店関係者やレストラン関係者との商談、意見交換を実施。

また、青森県産りんごの輸出拡大に向けて、2008年11月、中国人バイヤー5名を青森県内産地に招へい、青果物市場等の視察、商談会、意見交換会を実施。バイヤーの帰国直後にオーダーを獲得。



## 「国際見本市」へ出展を希望される方へ



農林水産物等海外販路創出・拡大事業(平成21年度予算額426,468千円の内数)

MAFF

海外の国際見本市に農林水産省が日本パビリオンを設置。

### (運営主体、支援対象者)

運営主体: 農林水産省から事業の企画運営を委託された民間団体等。(公募により選定)

支援対象者: 国際見本市への日本産農林水産物・食品等の出展希望者。

### (支援内容)

国際見本市に設置する日本パビリオンに場所代無料で出品。  
(ただし、出品物の運搬費、海外渡航費、各ブース内の備品、ディスプレイ、通訳等は自己負担。)

### (参加方法)

運営主体が参加する出展者を公募、審査により出展者を決定。  
(一部の国際見本市への出展は、輸出商社等のパートナーと連携ができていないことを条件とすることを検討中。)

### (募集時期、募集場所など)

運営主体の公募は、5月上旬頃～順次公募予定。

出品募集は、国際見本市開催日の半年～8ヶ月前(目安)。

### (日本パビリオン事業の例)

SIAL(シアル)2008  
(Salon International de l'Alimentation)

フランス・パリで開催される世界最大級の  
食品総合見本市

期間: 2008年10月19日(日)～23日(木)  
来場者数: 14.8万人

国内の21の企業・団体が出展し、日本パビリオン  
を形成

出品物は、味噌、椎茸、醤油、酢、山葵、海苔、日本  
茶、豆乳、コメ、梅、清酒、焼酎及び加工食品等

日本パビリオンの一角に特設ブースを設け、日仏の  
料理人等による料理デモンストレーションも実施



## 「海外のアンテナショップ」へ出品を希望される方へ



農林水産物等海外販路創出・拡大事業(平成21年度予算額426,468千円の内数)

MAFF

海外の高級スーパー、百貨店等において、日本産農林水産物・食品を販売するアンテナショップを農林水産省が設置。

### (運営主体、支援対象者)

運営主体:農林水産省から事業の企画運営を委託された民間団体等。(公募により選定)

支援対象者:アンテナショップへ日本産品の出品希望者。

### (支援内容)

高級百貨店等に設置するアンテナショップ(常設店舗)にテスト販売の機会を提供(現地の店代は無料)。

### (参加方法)

運営主体が出品物を募集、審査のうえ出品物を決定。

### (募集時期、募集場所など)

運営主体の公募は、5月上旬頃～順次公募予定。

運営主体からの生産者等に対する出品物の募集は、6月頃から順次募集予定。

### (海外アンテナショップの事業の例)

アズブカクーサ オストロピチャノーバ店  
(ロシア・モスクワの高級スーパー)

期間:2008年9月16日(火)～2009年3月8日(日)

スーパーの一角に日本産品を販売するコーナーを設置するとともに、地域産品フェアや料理講習会をあわせて開催し、ロシア・モスクワの一般消費者等に対して日本食・日本食材等のPRを実施。

主な産品の販売価格(2008年9月時点)

- ・ぶどう(岡山産オーロラブラック)
- ・温州みかん(佐賀産ハウスみかん)
- ・もも(福島産黄金桃)





# 「国際見本市」、「海外アンテナショップ」への21年度出展計画

MAFF

## (21年度の出展計画)

### 常設店舗

ロシア(モスクワ) UAE(ドバイ、アブダビ)

国際見本市、日本パビリオン等、海外展示・商談会への出展(予定)

中国国際木造エコ住宅博覧会(8/18-21 上海 住宅・木材)(初)

PIR 2009 Expo(9/30-10/3 モスクワ 食品総合)(初)

FHC China 2009(11/18-20 上海 食品総合)(16年度~)

IPM Essen 2010(1/28-31 エッセン 花き・植木)(19年度~)

Gulfood 2010(2月(日程未定)ドバイ 食品総合)(18年度~)

International Restaurant & Foodservice Show

(3月(日程未定)NY 食品総合)(18年度~)

中国花き博覧会(9/26-10/5 北京 花き・植木)(初)

ANUGA 2009(10/10-14 ケルン 食品総合)(15年度~)

Food Week 2009(11/19-22ソウル 食品総合)(初)

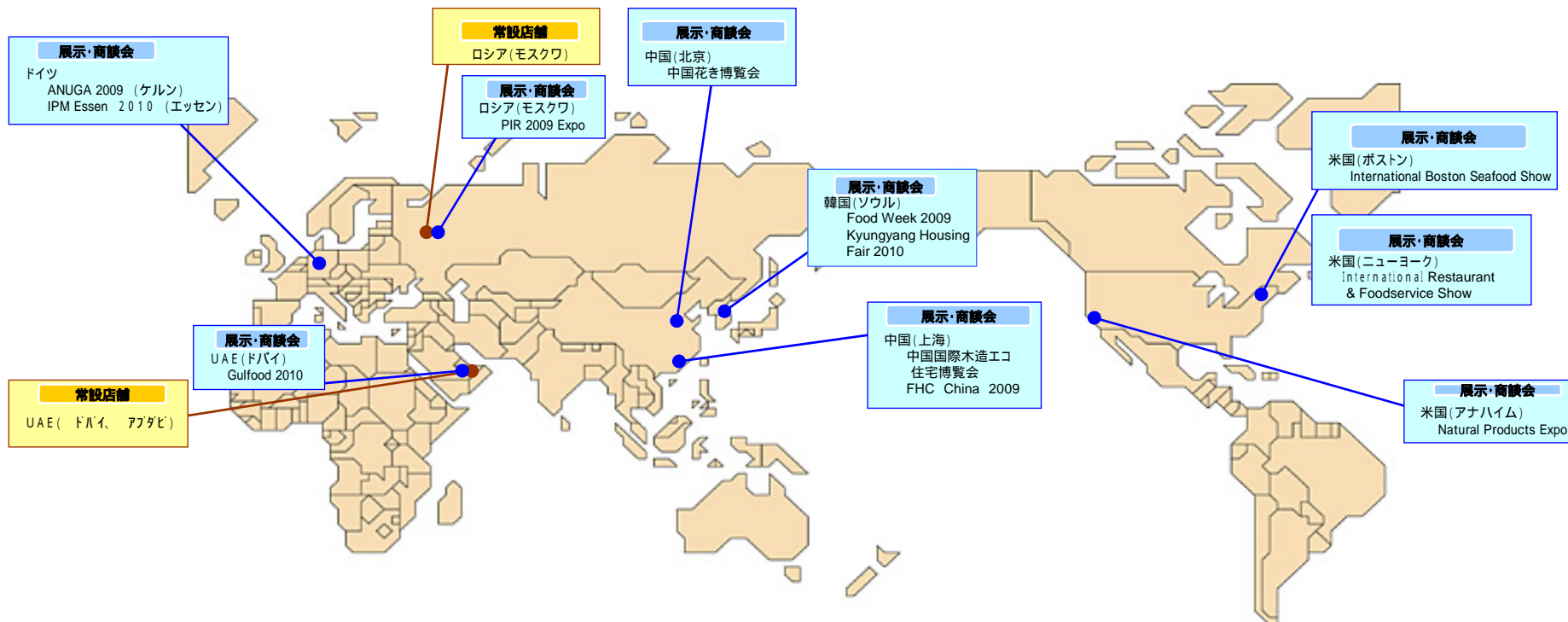
Kyungyang Housing Fair 2010(2月(日程未定)ソウル 住宅・木材)(20年度~)

Natural Products Expo(3月(日程未定)アナハイム 食品総合)(20年度~)

International Boston Seafood Show

(3月(日程未定)ボストン 水産)(19年度~)

展示・商談会への出展者の選定については、現地の流通業者若しくは輸入業者又は日本の輸出業者とのタイアップを重視(上記のうち)、ただし、については、現地事業者の開拓が必要であるため、タイアップ要件を課さないこととする。



# 国内の輸出促進セミナー、商談会へ参加を希望される方へ



活きた輸出情報ネットワーク構築事業(平成21年度予算額60,963千円の内数)

MAFF

輸出に意欲のある農林漁業者等を支援するため、各地方農政局等が中心となって、全国で輸出オリエンテーションの会を開催。(輸出オリエンテーションの会においては、輸出促進セミナー、国内展示・商談会、輸出産品発掘会を一体的に実施。)

輸出促進セミナー	輸出に意欲を有する農林漁業者、食品産業事業者などが参加し、バイヤーや輸出に先駆的に取り組んでこられた方々によるパネルディスカッションや講演を開催
展示・商談会	セミナーの参加者を中心として、すぐに輸出に対応できる農林漁業者、食品産業事業者が参加し、国内外のバイヤー(15名程度)と商談を実施
輸出産品発掘会	セミナー、展示・商談会の参加者を中心として、農林漁業者、食品産業事業者が参加し、在日外国人やバイヤーなどに試食をいただき、輸出可能性のある商品を発掘

## (運営主体、支援対象者)

運営主体:農林水産省から事業の企画運営を委託された民間団体等。(公募により選定)

支援対象者:輸出促進セミナー、国内商談会へ参加希望者。

## (支援内容)

国内で行われるセミナーや海外のバイヤーとの商談会に無料で参加。(ただし、出品物の運搬費、交通費等は自己負担)

## (参加方法)

公募により、選定のうえ、決定された運営事業者が行う募集に応募。(申し込み者は、原則として全員参加できます。)

## (募集時期、募集場所など)

運営主体の公募は、5月上旬頃～順次公募予定。

参加される生産者等の募集は、開催日の1～2ヶ月程度前。

## (昨年度の実施実績)

地方農政局等	期間	開催場所
北海道	2008年10月3日(金)	札幌
東北	2008年10月28日(火)	仙台
関東	2008年10月16日(木)	東京
北陸	2008年10月22日(水)	富山
東海	2008年11月10日(水)	名古屋
近畿	2008年10月7日(火)	大阪
中国四国	2008年11月20日(木)	松山
九州	2008年10月30日(木)	博多
沖縄	2009年2月9日(月)	那覇



# 日本食材を海外でPRする機会をお探しの方へ

「WASHOKU- Try Japan s Good Food」事業(平成21年度予算額281,605千円の内数)

MAFF

在外公館等のレセプション等の場において、海外のオピニオンリーダー等に対し、日本食・日本食材等のPRすることにより、海外メディア等を通じて、海外の一般消費者等の日本産品に対する需要を喚起。  
外務省と農林水産省が共同して実施。

## (運営主体、支援対象者)

運営主体:農林水産省から事業の企画運営を委託された民間団体等。(公募により選定)

支援対象者:国内の食品事業者や生産者等。

## (支援内容)

在外公館等のレセプション等の場において、海外のオピニオンリーダー等に対し、日本食材のPRを実施。

PR用の広報資材等の提供。

食材提供者の連絡先の提供、参加者に対するアンケート調査の実施、食材提供者に対する報告。

(食材提供者が自ら海外でPRするための渡航費等は本事業の支援対象外)

## (参加方法)

事業の企画運営を委託された運営主体より、提供品目の公募を実施。

在外公館からの要請に基づき、応募のあった品目の中から提供品目を決定。

## (募集時期、募集場所など)

運営主体については現在公募中(4月7日締切)。

提供品目の公募については、事業の企画運営を委託された民間団体等より実施(5月頃～来年1月頃を予定)。

## (昨年度の実施実績)

21回、16国・地域

### (海外におけるTry事業の例)

ホンモノ志向 和食・日本酒PRイベント

韓国・ソウル ロッテホテル、在韓国大使館公報文化院

期間:2008年10月22日(水)～10月23日(木)

提供品目:水産物(ほたて貝、たい、ぶり等)、かぼちゃ、日本茶

(独)日本政府観光局(JNTO)等とも連携しつつ、農林水産物等の輸出促進のほか、韓国観光客の訪日促進、対日理解の増進を目的として、和食・日本酒PRイベントを実施。

韓国人女優の朴正淑(パク・ヨンス)さんの「一日日本酒・和食大使」への任命等により、韓国メディアにも大きく取り上げられた。



### (国内におけるTry事業の例)

北海道洞爺湖サミットにおける日本

食・日本食材等のPR

国際メディアセンター(ルスツリゾートホテル)内レストラン

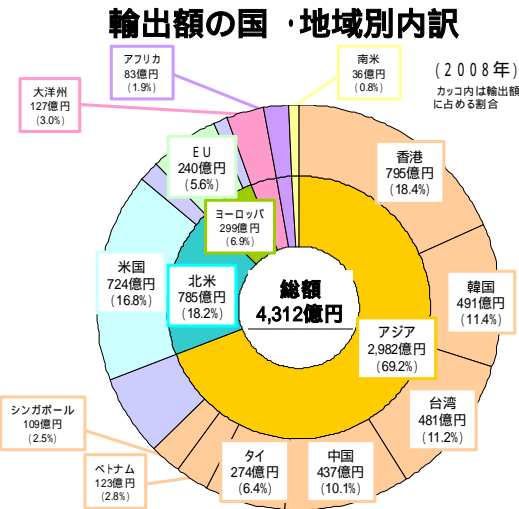
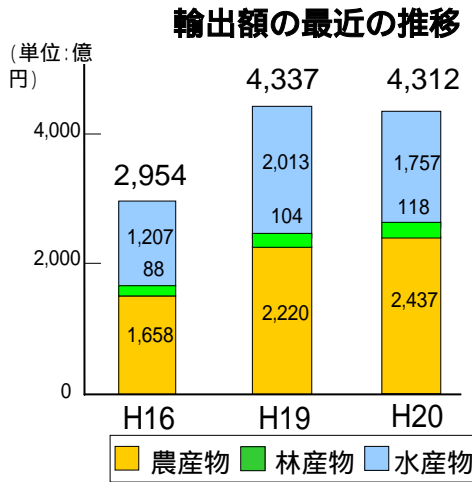
海外のメディア関係者の取材の拠点となる国際メディアセンター内のレストランにおいて、日本食・日本食材等を提供。

食生活ジャーナリストの岸朝子氏監修のもと、旬の高品質な日本食材等を用いたメニューを日替わりで提供。



# (参考) 21年度農林水産物・食品輸出促進対策

平成20年  
4,312億円



## 輸出促進対策 平成21年度予算額 21億円

### 1. 意欲ある農林漁業者等に対する支援

輸出に関する情報の提供 (海外市場動向等)

海外における商談会開催  
や見本市への参加支援

海外販売促進活動への補助





### 2. 日本食・日本食材等の海外への情報発信

在外公館を活用した日本食の提供

海外マスメディアを活用した広報




輸出拡大目標  
1兆円規模  
(平成25年)

### 輸出取組事例

・いちご「あまおう」は、大玉で食味がよいのが特徴で、高級果実としてアジアの富裕層の人気を獲得しています。



・台湾での健康志向の高まり、高品質品へのニーズに乗り、大型の長いものを輸出しています。輸出の実績が評価され、産地の知名度もアップしました。



## 「農林水産物等輸出促進メールマガジン」のご紹介

農林水産省では、農林水産物等の輸出に関心を持つ方々にとって取組のきっかけとなるよう、様々な情報提供を行うべく、「農林水産物等輸出促進メールマガジン」を毎月定期的に発行しています。

[http://www.maff.go.jp/j/export/e\\_mailmaga/index.html](http://www.maff.go.jp/j/export/e_mailmaga/index.html)

## お問い合わせ先

北海道農政事務所農政推進課	(011)642-5410
東北農政局生産経営流通部農産課	(022)221-6179
関東農政局生産経営流通部農産課	(048)740-0151
北陸農政局生産経営流通部農産課	(076)232-4302
東海農政局生産経営流通部農産課	(052)223-4622
近畿農政局生産経営流通部農産課	(075)414-9021
中国四国農政局生産経営流通部農産課	(086)224-9411
九州農政局生産経営流通部農産課	(096)353-7382
沖縄総合事務局農林水産部農政課	(098)866-1627
農林水産省国際部輸出促進室	(03)3502-3408